

No.32  
 特定非営利活動法人(NPO法人)  
 建築ネットワークセンター  
 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3  
 渡辺ビル505  
 TEL 03-5386-0608 FAX 03-5386-1065

http://www.kenchikunet.org E-mail:kenchiku@d2.dion.ne.jp

## 「住まいは人権」、住まい手の立場で15年 相談活動、社会的活動すすめる



建築ネットは、1996年12月6日、建築士、弁護士など16名の多彩な人々によって設立されました。設立の前年、1995年1月「阪神淡路大震災」が起き、欠陥住宅が重大な被害につながったという教訓と欠陥問題での相談が多数寄せられたことなどが創立の契機となりました。

それ以来、「住まいは人権」の立場から住まいの「駆け込み寺」として活動し、2002年6月29日、「法に定められた運営や情報公開も積極的に行って社会的信用を高め、責任ある活動を発展させる」という決意で、「NPO法人」としてスタートすることになりました。

2006年2月11日に「建築ネット創立10周年記念の集い」を新宿サンパークホールで開催し、2010年2月の総会で「活動理念」を決め、今年、建築ネット創立15周年NPO法人設立10周年を迎えることになりました。

建築ネットの特徴は、専門家(一級建築士・弁護士・マンション管理士・都市計画スタッフなど)と住まい手(欠陥住宅で苦勞して人、マンション役員・居住者など)が一緒になって、住宅問題に取り組んでいることです。

この15年間の活動の主な実績は、①「活動理念」(右カコミ)にあるように、住まい・福祉・まちづくりを一体とした取り組みの重要性、「住まいは人権」、住まいは生活の基礎であることが建築ネット全体の認識になり、世論に働きかけたこと、②地

震・防災問題は、創立時からの基本的な課題であり、新潟県中越地震、中越沖地震などに取り組んできたこと、③16名から出発、現在183名と仲間を増やすことで、相談・要求活動を発展させることができたこと——などです。

3・11東日本大震災(2011年)は、住宅や住み慣れたまちが失われ、多くの人が仮設住宅などで暮らしています。いまこそ、「住まいは人権」の立場で、国・自治体へ働きかけ、建築ネットなどNPOが大いに奮闘するときではないでしょうか。

### 活動理念は

特定非営利活動(NPO)法人建築ネットワークセンター(建築ネット)は、住まいの「駆け込み寺」として、欠陥住宅の解決やマンション問題などに長年にわたり地道な活動を積み重ねてきました。

そこに参画している一人ひとりが、住まい・福祉・まちづくりを一体とした取り組みの重要性、「住まいは人権」、住まいは生活の基礎であるという共通認識を獲得してきました。

活動をさらに広く多角的に、質量とも高い水準に向上させるため、次の理念を基盤にして、住まい手の立場に立って活動します。

- (1) 一人ひとりの暮らしと権利を守ります。
- (2) 市民の福祉と健康、安全な地域づくりに貢献します。
- (3) 社会の進歩に寄与します。

## 3つの創立記念行事を企画

次の3つの「建築ネット創立15周年・NPO法人設立10周年記念企画」を準備しています。多くのみなさんをご参加を呼びかけています。

1 「記念集会・パーティー」:6月16日(土)、  
 全労連会館ホールで開催

2 「文化・美術展」:9月17日(祭)~23日(日)、  
 新宿中央公園内「区民ギャラリー」で開催

3 「記念講演会」:11月17日、  
 佐藤滋早稲田大学教授を講師に全水道会館で開催

## 創立15周年記念講演会

と き 11月17日(土)午後2時開会  
 (午後1時30分開場)

と ころ 全水道会館4階「大会議室」  
 (JR水道橋駅東口徒歩2分)

講 師 佐藤 滋 さん(早稲田大学教授)

【講師プロフィール】

「まちづくり市民事業」(学芸出版社)より抜粋  
 1949年千葉県生まれ。1973年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1990年教授に就任。早稲田大学都市・地域研究

所所長として、自治体・民間セクター・市民まちづくり組織と実践的な共同研究を行い、市民と専門家が連携する新たなまちづくりの方法の確立に取り組んでいる。工学博士。専門:都市設計・計画。

主な著書に『図説・城下町都市』(鹿島出版会、2002年)、『地域協働の科学』(成文社、2005年)、『図説・都市デザインの進め方』(丸善、2006年)、『大震災に備える1,2』(編著、日本建築学会叢書、2010年)、『都市計画 根底から見直し 新たな挑戦へ』(共著、学芸出版社、2011年)などがある。

最近、『東日本大震災からの復興まちづくり』(編著、大月書店、2011年)を出版され、日本建築学会の会長もつとめていました。

## 建築ネット文化美術展

NPO建築ネット15周年記念企画  
 出展、参加をお願いします

建築ネット会員、賛同してくださる地域の方、美術・工芸などが好きな方の楽しい発表の場を計画しました。ぜひご参加ください。

- 会 場:新宿区中央公園内「区民ギャラリー」
- 会 期:2012.9/17(月・祭日)~9/23(日)
- 作 品:平面、立体造形、書道、手芸、生花、写真など
- 申込み締切:9月3日(月)

定数まで先着順にて受付

- 出展料など:1人2000円予定
- その他詳細は順次決めます

問い合わせ

建築ネットワークセンターまで



## 無料相談会のご案内

準備のため、いずれも事前に連絡をお願いします。

◆ 住まいと建築なんでも相談

毎週月曜日午後1:00~4:00

その内容に合った専門家、一級建築士が対応します。

◆ マンション何でも相談会

第3土曜日午後1:00~4:00

弁護士、マンション管理士、建築士等専門家が複数で対応します。

◆ 住宅リフォーム相談会

第1金曜日午後2:00~5:00

リフォーム、新築など建築、設備、内装の専門家、健康住宅アドバイザー、ハウスマンテナーなどが対応します。

【ご案内図】



Tel. 03-5386-0608



# マンション天井裏からの異音被害

母親と2人暮らしのT氏が、マンションの引き渡しを受け入居したのは平成19年5月。夢のマンションライフが地獄の日々になるとは、その時T氏は予想もしていませんでした。写真Aはお宅の専用庭に建てたプレハブの部屋です。2年後T氏はここで寝泊まりし病弱な母親はついに入院しました。その理由は、洗面室天井裏(写真B)で発する音の影響で、室内では生活できなくなったからです。

異音は11月～3月の冬季に発生し、朝8時～10時と夜6時～8時に集中します。夜中に突然鳴り出すこともあります。その音色は木槌で固いものを叩くような音で、リズムは速かったり遅かったりです。T氏は後に「あの不気味な音が母の心臓の鼓動まで弱らせた」と、悲痛な思いを語ってくれました。

平成23年2月、T氏の相談を受け、後日現地を訪問しました。そして問題の異音を聞くことができました。原因のひとつに排水たて管の伸縮音があります。冬場に冷えた配管に湯を流すと熱で伸び、冷めると縮みます。その際に音が発生することがあります。時間帯は主に朝・夕食の準備時や入浴時です。夜中に湯を流しても同様です。また、

排水温度が高いとより急激に配管が伸縮し音のリズムは速くなります。

T氏と同席した施工会社に、配管の収縮を吸収する継手を排水たて管に挿入する案を提案しました(写真C・D、改修図参照)。改修工事はその後すぐに実施され、1年後の今年2月T氏から、「この冬、異音は発生しなかった」と連絡がありました。

今回は、原因究明があまく、対応されていたものの根本的解決につながらなかったこと、排水たて管が共用部分にもかかわらず管理組合としての対応がなかったこと、などが居住者を苦しめた原因だと考えます。問題解決に向けた的確な行動や体制があれば、居住者が長い期間悩まずに済んだのでは、と思いました。(一級建築士 小玉隆司)



C:隣接浴室クローゼット奥排水たて管



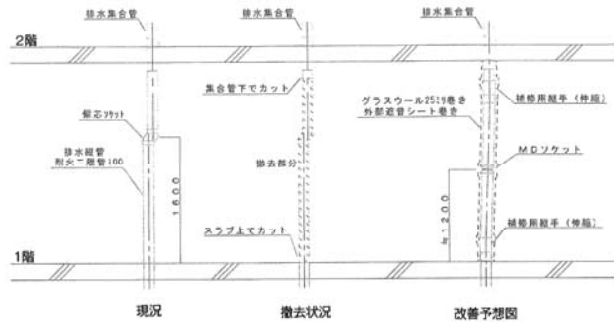
D:排水たて管



A:プレハブ部屋



B:洗面室



改修図

## ティーたいむ 子どもの食事

## 放射能に負けないためにこれだけは気をつけて!

4月から放射能新基準値が施行され、放射能汚染と無関係には生きられない時代。食品からの内部被曝問題は、とくに子どもへの影響が心配されます。そこで、食事対策6点を紹介します。

- ①ベターなものを選択、栄養バランスを保って  
成長期の子どもの免疫力を保つことが大切。まず、栄養バランスへの配慮が第一です。放射能を恐れすぎて野菜を買え控えせずにベターなものを選択し、よく水で洗うなど、下処理を怠らないにしましょう。
- ②汚染が不透明な牛乳、カルシウムは他のもので  
牛乳の汚染状況・流通の実情もいまだ不透明なままです。カルシウムはコマツナや大根葉・がんもどき・ゴマなどからとり、汚染情報をチェックしましょう。
- ③安全な素材で家庭料理・手作りの努力を  
農業や有害な化学物質を避けることが今まで以上に大切です。安全性の不確かな輸入食品は避け、シンプルなお料理・手作りのものを大切にしましょう。

④妊娠中・授乳食はとくに注意を  
妊娠中・授乳中・乳幼児の離乳食などには、できるだけ汚染の少ない食材にしましょう。

⑤伝統食のすばらしさを子どもに伝えよう  
砂糖や肉・乳製品を減らし、ご飯にみそ汁・漬物・野菜料理に豆腐や魚など和食中心の伝統食を。よく噛み、腹八分を習慣にしましょう。

⑥大切な早寝早起き・規則正しい食事  
丈夫な身体に育てるためには、「正しい生活習慣」を逸脱してはいけません。早寝早起き・規則正しい自然のリズムにそった暮らし方を心がけましょう。



(家庭栄養研究会・岡本昭子)

## 新しいマンション理事さん 大歓迎

## 5月26日から「マンション連続講座」スタート

日程	テーマ
5 / 26 (土)	意外と知らない「マンション保険と個人保険」
6 / 23 (土)	これだけは知りたい「マンション管理入門」
7 / 28 (土)	マンションの寿命はメンテナンスで決まる
9 / 8 (土)	マンションの防災・減災対策
10 / 27 (土)	マンションの防災・耐震対策
11 / 24 (土)	大規模修繕に欠かせない専門家(一級建築士)

●会場 建築ネットワークセンター事務所 (JR大久保駅3分)  
 ●時間 いずれも午後1時30分～午後4時  
 ●参加費 一般：1～6回で5000円 (1回 1000円)  
 会員：1～6回で2500円 (1回 500円)  
 ●出席ご希望の方は「建築ネットワークセンター」へご連絡ください。